



## 2004年全国翻訳専攻資格検定試験 通訳総合能力(日本語・3級)録音資料

一、次の会話と短文を聞いてください。その後、A~Dの中から最も  
適当なものをひとつ選んでください。(70点)

まず、会話または短文を聞いてください。その後で質問をします。それぞれの会話または短文には、A~Dの四つの選択肢が与えられています。その中から最も適当なものをひとつ選んでください。

会話と短文は1回読むだけで、繰り返しはしません。

では、一度練習しましょう。

例 男の人と女の人が話しています。

男：準備、進んでる？

女：全然、一生に一度だと思えば、いろいろ迷っちゃって。

男：一度じゃないかもしれませんよ。

女：あ、ひどい。

質問：女の人は何を準備していますか。

この例では、正しい答えがCですから、Cのところの□の中に✓を書き入れます。

では、始めます。

### 問題 I (2点×15=30点)

1番 男の人と女の人が交通事故について話しています。

女：今朝の新聞、読みました？

男：いいえ、まだです。何か事件でもあったの？

女：ええ、ゆうべ、高速道路で大きな交通事故がありました。新聞を読んで、びっくりしたわ。

男：ああ、あの交通事故だね。寝る時に、ラジオのニュースを聞いて、ぼくも驚いたよ。

質問：いつ、どこで交通事故が起きましたか。

2番 男の人が女の人に郵便局の場所を尋ねています。

男：すみません、郵便局はどこにありますか。



女：この道をまっすぐ行くと、デパートがあります。デパートはあの大きい建物です。

男：ああ、あれですね。

女：ええ、そうです。そこを左へ曲がると、すぐ銀行があります。銀行の前を50メートルくらい行くと、郵便局です。

男：どうもありがとうございました。

質問：郵便局はどこにありますか。

3番 男の学生と女の学生が教室の中で話しています。

女：テスト、どうだった？

男：うーん。

女：難しかった？

男：そうでもなかったんだけど、時間が足りなくて、遅刻しちゃったから。

女：なんで？寝坊したの？

男：いや、いつもの電車に乗り遅れちゃって。あーあ、駅でトイレなんか行かなきゃよかった。

女：ついてなかったね。

男：うん。

質問：男の学生は、どうしてテストに遅刻しましたか。

4番 男の人と女の人がサッカーを見に行くことについて話しています。

女：サッカーのチケット、2枚もらっちゃった。ねえ、一緒に行かないの？

男：行ってもいいけど、まず、谷本さんに聞いてみたら？サッカー好きだから。

女：もしだめだったら？

男：そうしたら、いいよ。

質問：男の人はサッカーを見に行くことについて、どう思っていますか。

5番 男の人と女の人がお酒について話しています。

男：日本のお酒を飲んだことがありますか。

女：ええ、留学生のパーティーで少しだけ飲んだことがあります。

男：おいしかったですか。

女：さあ、私はあまり飲めないもので、よく分からなかったです。日本のお酒は何から作られますか。

男：米から作られます。ビールやウィスキーは大麦から作られます。ウィスキーはとうもろこしからも作れます。ワインはぶどうから作られます。

女：お酒のことをよく知っていますね。

質問：大麦やとうもろこしから作られるのはどんな酒ですか。

6番 男の人と女の人が写真を見ながら話しています。

男：この子、かわいいでしょう。



女：お子さんですか。  
男：そうです。母親に似ていると思いますか。  
女：それほどでも…。  
男： そうですね？どっちかというと、父親似ですよねえ。  
女：うーん、あつ、こちらはおじさんですか。よく似ていますね。  
男：いいえ、これ、私の友人です。

質問：女の方は子供が誰に似ていると思っっていますか。

7番 2人の女子学生が話しています。

女1：ねえ、拓也の趣味って知ってる？  
女2：拓也の？  
女1：うーん、いつも額に皺を寄せて、なんか難しい顔をしてるから、  
哲学の本かなんか読んでるんじゃない？  
女2：それがね、小さいときから鉄道に狂ってるんだって、拓也。  
女1：ああ、それでいつも旅行してるんだ。  
女2：いいよね、今だったら山もきれいで、釣りのシーズンも始まった  
し。  
女1：そんなことしないんだって。どこも見て回らないらしいのよ。た  
だただ列車の写真をとるだけで。  
女2：へえー。

質問：拓也さんの趣味は何ですか。

8番 お母さんと娘の会話です。

娘：できたよ。味見て。  
母：どれどれ。ちょっと塩辛いなあ。  
娘：えっ、ほんと？しょうゆも塩も本に書いてあるだけしか入れてない  
んだけどなあ。  
母：砂糖を入れたの？  
娘：入れたよ。  
母：そう。  
娘：どうしてかな。  
母：塩はいつ入れたの？  
娘：しょうゆを入れてから。  
母：じゃ、砂糖は？  
娘：塩を入れてから。  
母：えっ？砂糖を一番に入れなくちゃ。  
娘：あ、そうなの？

質問：娘はどの順番で調味料を入れましたか。

9番 男の人が女の人に会議室の予約をしています。

男：すみませんが、第一会議室を予約したいんですが、来週の火曜日  
の午後は空いていますか。  
女：何時ごろでしょうか。  
男：3時ごろから2時間ぐらいかな。



女：ええっと、3時から空いているんですが、次の予約が4時半からなので…。

男：ああ、そう。その前はどうか。2時半とか。

女：申し訳ないんですが、第二とか第三のほうならお取りできますが。

男：第三はねえ…。第二って広がったっけ。

女：8名ぐらいなら。

男：8名じゃねえ…。うーん、じゃ、いいや。1時間半でも。

女：分かりました。

質問：男の人は会議室の予約をどうしましたか。

10番 女の人がアパートを選ぶ時の条件について話しています。

女：アパートを選ぶ時、何が大事だと考えるかは、人によって違います。安いことが一番大事だと考える人もいるし、それより駅からの距離や家の広さが大事だと思う人もたくさんいます。でも、安全が大事だと考える人ほどは多くないということです。

質問：アパートを選ぶ時、何が大事だと考える人が一番多いですか。

11番 男の人が登山で失敗した原因について話しています。

男：今回われわれが頂上まで行けなかった理由ですか。そうですね、やっぱり今年の異常な気候が原因だと思います。いつもの年より気温が高めでしたから、雪の状態がよくなかったですね。あっ、体の調子ですか。ええ、それはもう全員問題がありませんでしたよ。あっ、あのう、最後に経済的に応援していただいた方々には、ほんとうに申し訳ないと思っています。

質問：登山はなぜ失敗しましたか。

12番 男の人が植木の育て方について話しています。

男：この種類の植木は日光と温度に注意してください。そうすれば、きれいな花が毎年楽しめますよ。日が強すぎると枯れてしまうので日陰ぐらいに置くのがいいでしょう。それから零度以下になりそうな時には室内に入れてください。

質問：この種類の植木は普通、どこに置くのがいいですか。

13番 女の人が女性が結婚して子供が生まれた時、仕事をどうするかについて話しています。

女：厚生省の調査で、結婚して子供が生まれた時、仕事をどうするかについて、今の女性の考え方が明らかになりました。以前は仕事をあきらめると答えた人の割合が一番多かったのですが、今回は大きく減りました。子育てをする間だけ仕事をやめ、子育ての後、もう一度働きたいと答えた人が1位になりました。そして、仕事と育児を同時にやりたいと答えた人も、仕事をあきらめると答えた人を追い抜きました。

質問：結婚して子供が生まれた時、仕事をどうするかについて、今の女性はどのように考えていますか。



14番 男の人が話し合いの場でお酒を出すべきかどうかについて話しています。

男：日本人は会議などの話し合いの時にあまり意見を言わない、本当の考えていることを言わないなどと非難されます。その代わりに、お酒を飲むと普段無口な人でもおしゃべりになるし、思っていることを正直に話すとも言われます。そこで、お金がかかっても、話し合いの場でお酒を出せばよいという意見もありますが、それはうまくいきません。それはお酒の席で言ったことにはあまり責任を持たなくてもよいといった考え方があるからです。

質問：話し合いの場でお酒を出すのはどうしてよくないと言っていますか。

15番 女の人が町の問題について話しています。

女：ええ、市民の皆さん、町にはご存知のように、山のように問題があるわけです。どの道路も狭く、そのわりには交通量が多く、事故がなかなか減りません。また、この町には、病院が一つしかありません。さらに、ゴミ問題も深刻です。ゴミは増えるばかりで、ゴミを捨てる場所がなくなりそうです。ま、いろいろな問題があるわけですが、この町がまずしなければならぬことは、市民の健康と命を大切にすることです。たとえ怪我をしたり、病気になっても、心配ないように、一日も早くなんとかしなければなりません。

質問：女の人は何を最初に解決すべきだと言っていますか。

## 問題Ⅱ (3点×10=30点)

1番 男の人と女の人が話しています。

男：椅子は2つで足りたんですか。

女：ええ、大人は座ってたんですが、それぞれの双子を連れてたんです。

質問：室内には、何人いましたか。

2番 男の人と女の人との会話です。

女：あ、痛っ、何、このケーキ。サンプルじゃない？

男：あ、吉田さんだったか。へへへ…。

女：あんまりよくできてるから思わず食べちゃったじゃない？

男：でしょう。ぼくもさっき、騙されちゃったんだよ。

女：まったく、人をからかって。

質問：男の人はどうして飾り物のケーキを置いたのですか。

3番 男の人が飛行機の予約をしています。

男：東京行きの飛行機を予約したいんですが、いつ飛んでいますか。

女：はい、週3回、月、水、金の夕方の6時でございます。

男：来週の金曜日はどうかなあ。



女：来週ですか。えー、10日の金曜日は祝日ですので、もう満席なんです  
すが。

男：困ったなあ。じゃ、次の便はどうですか。

女：それなら大丈夫です。

男：じゃ、それで。

女：かしこまりました。

質問：男の人は何日の飛行機を予約しましたか。

4番 母親と息子との会話です。

母：どう？ 今の会社。

子：うん、みんな仕事が好きな人ばかりで活気があっていいよ。

母：ふうん、じゃあ、つぶれる心配はないわね。

子：うん、それは安心してらんだ。

母：でも、ちょっと疲れてるんじゃないの？

子：うん、このところ、2週間休みなし。

母：ひどいね。

子：それはいいんだけど、人事の仕事には向いていないようで、疲れち  
ゃうんだ。

母：そうなの。

質問：息子は何が嫌だ、と言っていますか。

5番 図書館の館員が女の人と電話で話しています。

男：もしもし、こちらは市立図書館ですが、恵美さんいらっしゃいます  
か。

女：はい、私ですが。

男：あのう、お借りになってる『小島の歌』と『イタリア旅行の手引き』  
が期限を過ぎているので、早く返していただけませんか。あ、そ  
れと、スペインの民族音楽のテープも早くお願いします。

女：あ、そうですか。すみません。あつ、後『コッタちゃんの冒険』と  
いう本もそうですよね。

男：いいえ、それはうちじゃないと思います。

女：そうですか。すみません。今日すぐ行きます。

質問：女の人はこの図書館に本を何冊返さなければなりませんか。

6番 男の人と女の人がテレビを見ることについて話しています。

男：いつもテレビって、どのぐらい見る？

女：帰るとすぐつけて、だいたい寝るまでつけたままなの。

男：よーく、そんなに見てられるね。

女：特に番組を選んで、じっと集中して見続けているわけじゃないし、  
それにつまらなくなったら、違う番組にすぐ換えられるし。

男：あ、そう。

質問：女の人はどうな見方でテレビを見ていますか。

7番 女の人と男の人が話しています。



女：たいへん、たいへん、山下さんが交通事故を起こして、つかまっちゃったんですって。

男：えっ？

女：さっき連れて行かれたそうよ。

男：ああ、そう。

質問：山下さんは今どこにいますか。

8番 男の人と女の人が話しています。

男：来週の午後、空いています？

女：えーと、来週って、もう9月ですよ。

男：ええ。

女：9月の木曜日は全然だめなんです。一日中。

男：月曜日とか、火曜日とかはどうですか。

女：えーと、週の前半はねえ、今はまだお約束できないですねえ。男：そうか、困ったなあ。こっちは、木、金がきびしくてねえ。

じゃ、週末にまたご連絡しますよ。それでなんとか時間を空けて。

女：そうですねえ、なるべく月、火でお会いできるようにしてみますけど。

質問：男の人と女の人はいつ会いますか。

9番 女の人がボケのことについて説明しています。

女：体の老化に生理的老化と病的老化があるように、脳にも病的な老化があって、ボケという形で現れるんです。ボケというのは、正しくは老人性痴呆症と言いまして、えー、脳の能力が正常な範囲を超えて低下して、社会生活がうまくできなくなった状態を言うんです。このボケの原因として、脳細胞の数が同年代の人たちより減っていることなどがあげられますが、まあ、最近では対策が進んで、60歳以上の老人で、全体の3パーセントほどに減少しています。

質問：ボケというのは、正しくは何のことですか。

10番 女の人が郵便局について話しています。

女：休日にも窓口を開ける郵便局が増えそうです。現在休日にも窓口を開けている郵便局は全国で約100局あります。ほかのところでも開けてもらいたいという声に応じて、政府はサービスとして3年後に休日に窓口を開ける局を現在の3倍にすることにしました。とりあえず来年度は50局を増やす予定です。

質問：3年後に休日にも窓口を開ける郵便局はどのぐらいになりますか。

### 問題Ⅲ (5点×2=10点)

#### 文章1



女：「うん。いいわよ。じゃ、来週の金曜、会社が終わってから、どう。えっ、場所ねえ、う…ん。ちょっと知ってる店があるから、そこにしようか、私が案内するから。何のって、中国料理の…。ううん。そんなことないわ、ほんと、安いんだから。それだけじゃなくて、本当の中国の味なのよ。そこのおじさん、昔、どこか大きい会社に勤めてた人でね。うん、仕事でね、よく行ってたらしいのよね。初めて向こうへ行ったとき、町の小さいお店に入ったんだって。それが思ったよりもおいしくて「こんなにおいしい中国料理、今まで食べたことがない」って思ったんだって。そうね、日本じゃないのよね。で、自分で作ってみようって考えたのね。それから中国へ行ったときには、いつもその店に食べに行っ…ほら、何回も同じ店へ行っていると、店の人と友達になるじゃない。で、作り方、教えてもらうようになってね。それで、初めは自分が食べるだけだったのが「この味をぜひ日本人たちにも」って思って、3年前に店を始めたんだって。じゃ、長くなるからこれで。金曜日、うちの会社の前でね。」

問い1 女の方は誰と話していますか。(2点)

問い2 行く予定の中国料理屋のご主人は前には何をしていましたか。(3点)

## 文章2

女：嫌なことがあったりしたらどうなさっていますか。

男：そう、外国の方が日本で働いていらっしゃるといろいろたいへんだと思いますが、寂しくなったり、ですね。まだ日本語があまり上手ではないので、いろいろあるんです。そんな時はカラオケに行くんです。初めは、友達に連れて行ってもらったんですが、あれは面白いですね。私のような外国人にも歌えました。お酒を飲んでいるから、上手も下手もないんです。あれがいいですね。歌ったり、手をたたいたり大騒ぎなんです。おおぜいの前で歌ったりしていると、全然知らない人もすぐ友達になれるし、カラオケっていうのはサラリーマンにはいい遊びだと思いますよ。会社の帰りに行けるし、みんなで一緒に遊べるし。ニューヨークにいたころからカラオケの話は聞いていました。でも、どうして日本人がそんなにカラオケが好きなのか、分からなかったんですが、自分で行ってみて、よく分かりました。

問い1 カラオケがいいと言っている理由はどれですか。(2点)

問い2 この人は日本での生活をどう思いますか。(3点)

二、次の録音を聞きながらメモを取ってください。そして、その主な内容を、日本語で300字前後にまとめてください。





## (30点)

次の録音を聞いてください。録音は2回、流します。聞きながらメモを取ってください。1回目と2回目の間には1分間ぐらい空けます。その時間を利用して、メモの整理をしてください。2回目の録音を聴き終わった後、録音の主な内容を300字前後の文章にまとめて、後の原稿用紙に書いてください。

では、始めます。

男：日本では自分の主張を曲げない精神よりも協調的な態度が高く評価されるので、紛争が起こると多くの場合、妥協が計られます。例えば、労使紛争の場合、交渉行き詰まりを避けるために当事者は遅かれ早かれ最初の建て前の方針を捨てて、調停や譲歩によって解決の道を探り始めます。ですから、よく西欧諸国で見られるような長期の泥沼の労使紛争はめったに起こりません。日本のたいていの労働組合は企業別組合で、労働者にとっても雇用者にとっても会社の繁栄が優先します。そのために、両方の側から協調的ムードが容易に醸し出されるのです。

交渉は事実や統計に基づいて議論が始まっても、最終段階では極端な要求や権利の主張は和らげられ、譲歩によって生じる得失の検討がされます。ここでものを言うのは人情に訴える「ソフトセル」方式で、これが論理によって説得する「ハードセル」方式によって代わります。紛争を終結するいつものとどめの決り文句は「会社と社員の全体的利益のために」というものです。

他方で、個人または集団の理念にかかわる場合には、問題は多様で複雑になります。昔の武士の切腹の例に見られるように、日本人はかつて大義の為に死ぬことをいさぎよいことと信じていました。自分の理念にしたがって生きるということは、その理念を脅かすような妥協は許されないということだったのです。こうした非妥協的な態度は頭の固い急進的な人たちに今も見られますが、相手と妥協して争いを解決すると現実的なやりかたが一般的になっています。妥協をしたからといって、あげていた理念を捨てたわけではないということが対立する両方の側に暗黙のうちに了解されているのです。妥協は単に調整にすぎないとみなされます。したがって、理念を放棄しないで妥協をすることができるのです。

第二部分の録音はこれで終わります。

次に、25分間が与えられますが、この時間を利用して、この録音の主な内容を日本語で300字前後の文章にまとめてください。